

UR都市機構のまちの魅力発信施設

都 市 計 画 部
まちづくり政策課

PR 自治体第 1 号に選ばれました！

直 通 055-934-4886

UR都市機構が自治体と連携し、地域の魅力を発信する情報発信施設「まちのたね」を名古屋市・栄の地下街にオープンします。沼津市が第1号のPR自治体として、同施設でまちの魅力発信を行います。

■ 背 景

UR都市機構と沼津市は、平成30年8月に「まちづくり推進における連携に関する基本協定」を締結し、OPEN NUMAZU の実施に協力いただくなど、沼津駅周辺のまちづくりに協働で取り組んでいます。

そのような中、UR都市機構として初めての取組となる常設型の情報発信施設「まちのたね」がオープンすることとなり、沼津市の市制100周年のタイミングとも重なったことから、オープニングを飾るにふさわしい自治体として選定いただき、本市がPRブースを出展することとなりました。



「まちのたね」イメージ

■ 実施概要

日 程 令和5年9月1日（金）から9月7日（木）まで

時 間 午前10時から午後7時まで

※1日はオープニングセレモニー終了後から午後7時まで

※7日は午前10時から午後3時まで

場 所 栄「森の地下街」南二番街⑩番店舗

内 容

- ・沼津の特産物の販売（干物・スイーツ・お茶ほか）※1～3日のみの実施
- ・沼津の観光スポット等の紹介（沼津港・Sea級グルメ全国大会ほか）
- ・「ぬまづの宝100選」のパネル展示
- ・沼津のPR動画の上映

その他 9月1日（金）の午前11時から、UR都市機構の中島正弘理事長及び沼津市長が出席して、オープニングセレモニーを実施します。



※ その他詳細は、別添のUR都市機構のプレスリリース資料を参照ください。



UR初 常設型の情報交流施設

「まちのたね」から全国のまちの魅力を発信！

～栄「森の地下街」（名古屋市中区）に9月1日（金）オープン～

独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）は、令和5年9月1日（金）、日本全国のまちの魅力を発信し活動機会を創出する情報交流施設として、“ひと”と“まち”のマッチングスペース「まちのたね」を名古屋の都心・栄「森の地下街」（名古屋市中区）にオープンします。地域経済の活性化支援を主目的とし、自治体と連携した都心部における常設型の情報交流施設の運営は、UR都市機構として初めての取り組みとなります。「まちのたね」では、地域の特産品の販売や体験型ワークショップなどのPRイベントを行います。また、カフェコーナーや無料Wi-Fiを備え、多目的なフリースペースとしてもご利用いただけます。

オープンを飾るのは、今年市制100周年を迎えた静岡県沼津市です。9月1日（金）から9月7日（木）まで沼津市のPRブースを出展し、1日（金）から3日（日）の3日間は沼津市自慢の特産品の物販イベントも開催します。

9月1日（金）午前11時から、施設開業に合わせ、沼津市長参加のもとオープニングセレモニーを行います。

【イメージ】



（お問い合わせ先）

UR都市機構 中部支社

都市再生業務部 まちづくり支援室 まちづくり支援課

（電話）052-968-3188

総務部 総務・法務課（報道担当）

（電話）052-968-3305

「まちのたね」の概要

内容は変更する可能性があります。

<所在地>

栄「森の地下街」南二番街⑩番店舗

<アクセス>

名古屋市営地下鉄 東山線・名城線「栄」駅 東改札口より南に徒歩約1分

<営業時間>

午前10時00分～午後8時00分（施設運営内容によって変動有）

<施設内容>

- ・地域経済活性化に係るPRイベントの実施およびPR動画の放映等
- ・URの地方都市再生に関する取り組みの紹介
- ・フリースペース、カフェコーナーの設置

<公式HP>

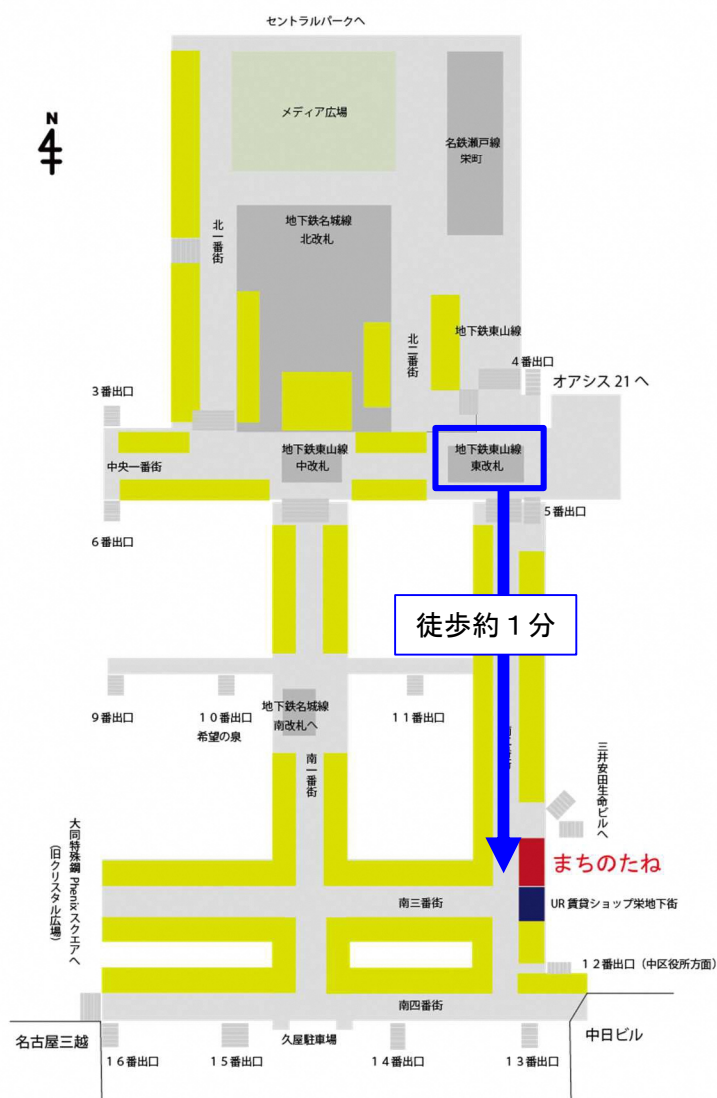
<http://www.machinotane.club>



<協力>

- ・株式会社名古屋交通開発機構
- ・株式会社URリンケージ中部支社

<案内図>



オープニングセレモニーについて

<主催>

UR都市機構

<開催日時>

令和5年9月1日（金） 午前11時00分から11時40分まで
（午前10時40分受付開始）

<開催場所>

栄「森の地下街」南二番街⑩番店舗「まちのたね」

<出席者>

沼津市 市長 頼重 秀一 様

UR都市機構 理事長 中島 正弘

中部支社長 郡司 直人

<セレモニー内容>

テープカット、「まちのたね」ロゴお披露目 ほか

※取材等でご来場される場合は、当日、受付にて名刺のご提示をお願いします。
また、取材用の腕章をご持参願います。

■取材でお越しいただくメディアの皆様

※事前申し込み（8月30日（水）17時まで）にご協力をお願いします。当日は、上記
セレモニー開始時間の10分前までに受付にお越しください。

【事前申し込み方法】

UR都市機構中部支社 都市再生業務部 まちづくり支援室 まちづくり支援課
（電話）052-968-3188 又は、X91450@ur-net.go.jp まで

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



UR都市機構は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

事業目的及び背景

<目的>

- 地域経済の活性化に寄与すること（認知度向上、交流人口増加等）
- 栄地下街の魅力向上に寄与すること

<背景>

UR都市機構は、まちづくりを通して、日本が抱える社会課題の解決に貢献するという意識を持って、都市再生・賃貸住宅・災害復興の3つの事業に取り組んでいます。都市再生事業のうち、地域経済の活性化とコンパクトシティの実現に向けたまちづくり支援では、これまでの事業経験とノウハウ、公平性と中立性、全体像を見据えたトータルな視点をもって、まちづくり構想等の策定支援から、計画の具体化・実施体制構築・施策の実施支援等を行っています。

また、UR都市機構は3つの事業を横断する取り組みとして「URふるさと応援プロジェクト」を開始しました。多くの自治体が抱える「観光に来てほしい」「まちを知ってほしい」「特産品を買ってほしい」といった悩みに対して、都市部の方々が集まる場やUR賃貸住宅（団地等）をつなぎ、自治体の特産品を販売・観光をPRする機会や場所を提供しています。当プロジェクトを通して、都市と日本全国のまちとのwin-winの関係を作ることを目指しています。

この度UR都市機構では、「URふるさと応援プロジェクト」の一環で、名古屋の都心部に自治体PRができる場を設け、「多くの人に自治体のことを知ってもらう」ことに主眼をおいた、新しいまちづくり支援の形として、“ひと”と“まち”のマッチングスペース「まちのたね」を9月1日（金）にオープンすることとしました。当施設が位置する栄「森の地下街」は、名古屋市営地下鉄「栄」駅に直結しており、1日当たり約3万人弱の人が「まちのたね」の前を通行しています。多くの人々が行き交う栄「森の地下街」に「まちのたね」を構えることで、全国のまちの魅力が多くの人々の目に触れ、地域経済の活性化に寄与すること、さらに栄地下街の新しい滞在拠点として、栄地下街の魅力向上の一助となるよう運営してまいります。

「森の地下街」を管理運営する株式会社名古屋交通開発機構や株式会社URリンクージュ中部支社と協力しながら、「まちのたね」を通して、東海地方だけでなく全国のまちの魅力を多くの人々に体感いただける取り組みを行ってまいります。

「まちのたね」9月のイベントについて

内容は変更する可能性があります。

期間	出店自治体	内容
9月1日～ 9月7日 ※物販は1～3日のみ ＜実施時間＞ 9/1 11:40-19:00 9/7 10:00-15:00 それ以外の日程 10:00-19:00	静岡県 沼津市  沼津市 HP	・特産品の販売（干物、スイーツ、お茶など） ・観光スポット紹介（沼津港、Sea 級グルメなど） ・「ぬまづの宝 100 選」のパネル展示 ・沼津市 P R 動画上映  提供：沼津市
9月8日～ 9月15日 ※ふるさと納税寄付受付、栗きんとん絞り体験は8～10日のみ ＜実施時間＞ 9/8 12:00-19:00 9/10 10:00-15:00 9/15 10:00-12:00 それ以外の日程 10:00-19:00	岐阜県 中津川市  中津川市 HP	・ふるさと納税返礼品の紹介・寄付受付 ・栗きんとん絞り体験（有料、事前申込不要） ・「フォーラムエイト・ラリージャパン 2023」P R ・観光スポット紹介 ・移住定住応援  提供：中津川市

上記期間以外は、カフェコーナー・フリースペースの開放、沼津市・中津川市の P R 動画、U R の企業広報動画等の放映を予定しています。9 月以降も愛知県美浜町、愛知県津島市、三重県桑名市など、様々な自治体が出店予定です。

施設内には 100 インチの巨大ビジョンや 85 インチモニターを設置しています。大画面で地域の美しい景色や自慢の特産品の映像等を楽しむことができます。カフェコーナーや無料 Wi-Fi も備え、イベントがない時も、買い物時の休憩場所やテレワーク等、多目的なフリースペースとしてご利用いただけます。